

「全鍍連」 2020年 4月号 いきいき地域

東京都鍍金工業組合 入内島 正悟 (誠鍍金工業(株) 取締役副社長)

「虎ノ門にある金刀比羅宮」

昨年度より情報国際委員を仰せつかりました、東京組合 入内島と申します。何卒、宜しく願い申し上げます。

皆様ご存じの香川県に鎮座致します金刀比羅宮ですが、東京に2箇所所有るのはご存じでしょうか？

1箇所は東京都文京区にある金刀比羅宮東京分社。そして、もう1箇所が今回ご紹介する虎ノ門・金刀比羅宮です。

虎ノ門・金刀比羅宮は1660年に讃岐国丸亀藩主であった京極高和公が金刀比羅宮の御分霊を当時の藩邸があった芝・三田の地に勧請し、その後、現在の虎ノ門に遷座し現在に至っています。この場所はすぐ側に霞ヶ関があり、有名な虎ノ門ヒルズも有ります。この虎ノ門・金刀比羅宮がユニークなのは敷地内に社殿と隣接する形で高層ビルである虎ノ門琴平タワーが有り、社務所が虎ノ門琴平タワーの1階の一角にある所です。東京の中心地でも有る虎ノ門ですが、オフィス街の為お正月や休日はサラリーマンの方々もいらっしゃらず、境内は落ち着いた雰囲気、ゆったりとした時間が流れています。特にお正月に参拝されている方々を眺めていますと、皆様、ご商売をされている方が多いのかなという感じ。また、元旦から初こんぴらの正月十日までに限り授与されている「福銭開運のお守り」は、こんぴら様の縁起の良い御神符として、皆様お求めになっております。その様な参拝者の方に混じり若い女性の方もいらっしゃいますが、その理由は境内社に「結神社（むすび神社）」が有り「良縁祈願」をされているからかも知れません。

新型コロナウイルスの流行が危惧されておりますが、無事治まりましたら、東京へ来た折りに是非、足をお運び下さい。

